

## 第 1 回 三宮構想会議 議事要旨

項目	内容
開催日時	平成 26 年 7 月 31 日 (木) 午後 3 時 00 分～午後 5 時 00 分
開催場所	神戸市役所 1 号館 14 階 大会議室
出席者	28 名 (委員 25 名、オブザーバー 3 名)
議事の目的	三宮周辺地区の目指すべき方向性と取り組むべき内容について自由に意見を交換する。
議事の内容	<p>■主な意見交換の内容</p> <p>○目指すべき方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 神戸は非常にコンパクトなまちというよさがあり、東京や大阪のように大きくなってしまつと、回遊性が失われていくので、このコンパクトさを売りにしていけばいいのではないかと。</li> <li>・ 神戸らしいものは何かという観点に立ち検討を重ねていくことが重要。</li> <li>・ 市民にとっても住みやすく、来街者にも魅力的なまち。</li> <li>・ 歩行者にやさしく、安心安全なまち。</li> <li>・ 社会、経済、あるいは町の変化に柔軟に対応できる、ある種の流動性を持っているということで、流動化というのが重要なキーワードになっていくのではないかと。</li> </ul> <p>○取り組むべき内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 駅の周辺に十分な空間が確保できないかもしれないが、三宮らしい、駅と都市の関係のつなぎ方をどうするかが重要である。</li> <li>・ 三宮全体が玄関であつて三宮全体が駅であると、そういう考えで、物事を考えるのが大事ではないかと。</li> <li>・ 三宮の駅前が一番重要であり、駅を中心とした快適なパブリックスペースをつくり出し、神戸の顔をつくるのが重要である。</li> <li>・ 中央幹線の南側、マルイやそごう、ハローワークのビルから北側の駅東ぐらいまでを一つの空間と見立て、この中で、駅前の快適な空間をつくり、南北をいかにうまくつなぐのかが重要なのではないかと。そして、駅に来た人にいかに海や山を感じさせるかを、やや広いエリアで捉えた上で考えてみる必要がある。</li> <li>・ 駅の見通しをよくし、山も海も見えるようにすることが重要ではないかと。</li> <li>・ 三宮町の辺り、ポートライナーの線からメリケンロードの線ぐらいまでのところを何らかの形できちんと整理して、その中で、駅というものを全体として考えていくということ必要なのではないかと。</li> <li>・ 一つ目はデッキ広場の整備、二つ目はバスターミナルの再検討、三つ目は JR の東改札口の新設や西改札口の整備、そして、四つ目にインフォメーションセンターの再構築が必要であると考えている。</li> <li>・ 三宮駅については、ほかの都市にない研究開発機能、病院、学校などを持って</li> </ul>

くるというふうに、市民全体が共有できるようなものを検討してはどうか。

- ・ 神戸は歩く町であると思うので、巨大なものをつくるのではなくて、つくらないことによる魅力づくりなど、スケール感があるが重要ではないか。
- ・ 駅からの回遊性を上げ、周辺の商業施設などと相乗効果を上げられるようにすることが重要ではないか。
- ・ デザイン都市としてのクオリティーというものは、神戸にとって、非常に重要なポイントである。
- ・ 3層ネットワークが、途切れているところがあり、地上面ではつながってはいませんが、地下では一部階段が残っているし、地上への出口が結構制限されている。空中階においても円滑につなげていくべき。
- ・ 初めて来た人にとってストレスなく動けるとというのが望ましい町のあり方であり、もう1度、神戸に来たくなるということを、情報面、移動面でストレスを少なくしていくべきではないか。
- ・ 神戸を感じられるスポット・空間をつくり、写真がとれるようなきれいな空間があれば良いのではないか。
- ・ 南北交通のネットワークができれば、非常に利便性が高まり良いと思う。
- ・ 地下鉄西神・山手線と阪急電鉄の相互直通運転が出来れば、一つのインパクトになるのではないか。
- ・ 三宮はバスターミナルの大きさが十分でないため、ターミナルの検討は必要であるが、例えば、三宮駅北側のフラワーロード沿いのバス停であれば駅から出てすぐに乗れるという利便性もあるため、全てを一つのターミナルに集約するというのではなく、ターミナルに集めるものと、そうでないものという分け方も必要なのではないか。
- ・ ポートライナー三宮駅はスペースにゆとりがなく狭いため、安全性の面からも、今回の三宮の再整備で、JRとの連携の中で、ゆとりのあるスペースをつくり出せばよいと思う。
- ・ 路線バスは、他都市にもあるように、道路上でお客さまを乗降させるのはやむを得ないが、高速バスとリムジンバスは、一点集中型にするという形を検討していくべきではないか。
- ・ 三宮の駅前を交通体系も含めて抜本的に見直し、バスターミナルの立体化も含めて検討できないだろうか。
- ・ 三宮を神戸の玄関口というならば、そこから神戸のどこへ行けるのかということがわかるような案内表示や情報提供などが、神戸空港や新神戸駅に必要ではないか。
- ・ バスターミナルは、例えば三宮駅の南側にあるなどと、お客様にわかりやすく案内できる、ご利用いただける場所を選定することが重要なのではないか。
- ・ バスターミナルの整備を検討する中で公共交通の相互の円滑な乗りかえという視点で検討を進めるべき。
- ・ 限られた空間の中で鉄道、バス、タクシーの交通拠点としての機能をどう発揮していくかというのは、この地区に課された大きな課題である。
- ・ バスの問題では、例えば東遊園地を2階にして上に運動場を作り、その下を全部バスの乗り場にする、そういうことも考える必要があるのではないか。

- ・ 三宮駅の東側にあるスクランブル交差点の交通渋滞等による事故も増えてきており早急に対策を練る必要がある。
- ・ ポートライナーをフラワーロードのほうには持っていき、新神戸へもつなげてはどうか。
- ・ 三宮といっても、かなりいろいろな顔があり、その辺も含めた議論が必要なのではないか。
- ・ 京都や大阪と比べて、外国人があまり多くないように感じられるため、外国人を、引きつけるような魅力というのを、都心エリア、特に三宮周辺で、つくっていくということも重要ではないか。
- ・ ハードの部分ばかりを先行するのではなくて、まちづくりのソフトの部分も重要ではないか。
- ・ 三宮周辺のテナントをうまくミックスできるような仕組みや、仕掛けというのが、重要であり、そうすることによって、地域外からの、神戸外からの、さまざまな投資の対象になるのではないか。
- ・ B I D（ビジネス・インフラメント・ディストリクト）などの制度も駆使しながら、まち全体の流動性を高め、常に魅力があるものとしていき、人が集まりお金が集まる、そういう構図をつくり出していくことが重要ではないか

以 上